



2024・3・7

No.21

シイタケの植菌体験をしました！

6日（水）に、サポーターさんの東野さんと上西さんに来ていただき、きりん組とぱんだ組がシイタケの植菌体験をしました。植菌体験をする前に、なぜシイタケの原木を作るようになったのか、原木の好きな場所や嫌いな場所はどこかなどが書かれた『ぼくたち原木しいたけができるまで』という紙芝居を見ました。

植菌体験はまず、原木に穴をあけるところを見せてもらいました。東野さんがドリルで次々と穴をあけていく様子を釘付けになって見ていましたよ。次に、菌を金づちで叩いて打ち込んでいくところも見せてもらってから、子どもたちも実際に菌を打ち込んでいきました。「これがシイタケの赤ちゃんやで」と渡された菌を見て、「これがシイタケになるの？」と不思議そうな



子どもたちでしたよ。菌を木にあけられた穴に少し差し込み、金づちで叩いて打ち込みました。最初は遠慮ぎみに叩いていたのですが、だんだん慣れてくると力強く叩いていました。最後の仕上げは大人がして、しっかり穴の中に菌が収まるようにしました。菌が木の全体にしっかり回るように、5月頃までは横に寝かして置いておきます。原木は、陽が当たらず、風がよく通り、雨の水がよく当たる場所が好きなので、ふたば園の裏庭（きりん組保育室の北側）に置く予定です。東野さんと上西さんが山から木を切り、子どもたちが植菌しやすいように木をきれいにし、穴をあけ…と、たくさん準備をしてくださったので、そのことに感謝し、大事に育てたいと思います。約2年後に、どんなシイタケができるのか、楽しみです。



最後は、そうじも
がんばりました！

力を合わせて、
木を運んだよ！

